

KUNITACHI

CITY

2020年度採用

文教都市 くになち

国立市役所採用案内  
(一般事務職)



## 1 職種・資格・募集人数

職 種	試験区分	受 験 資 格	募集人数
一般事務職	上 級	平成 5 年4月2日から 平成10年4月1日までに生まれた方	若干名

※ 試験区分の上級は大学卒業程度ですが、学歴不問です。

※ 外国籍の方も受験できます。ただし、本募集に係る表記(申し込み、試験、結果通知等)は、全て日本語によります。

## 2 受験の制限

地方公務員法第16条(欠格条項)の規定により、次の各号のいずれかに該当する人は、受験できません。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人
- (2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。
- (3) 国立市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者。
- (4) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者。

## 3 第一次試験

- (1) 日 時 令和元年7月28日(日) 午前9時45分集合
- (2) 会 場 国立市役所 他
- (3) 方 法 筆記試験及び作文
- (4) 試験科目及び時間割(予定)  
《午前》 教養(2時間)  
《午後》 専門(2時間)・作文(1時間)

科 目	試 験 内 容
教 養	社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能
専 門 (行政)	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、 経済学、財政学、社会政策及び国際関係

- (5) 試験結果の通知

合格・不合格にかかわらず、試験の結果は令和元年8月上旬頃に通知します。

注) ア 遅刻者は入室できません。

イ 試験当日は、受験票、HBまたはBの鉛筆(シャープペンシルも可)と消しゴムをお持ちください。

※第一次試験合格者は、第二次試験の前に最終学校（令和2年3月末日までに卒業見込の場合を含む。）の成績証明書及び卒業証明書（または、見込証明書）を提出していただきます。

大学卒業後に大学院又は専門学校等を修了・卒業している場合はそれぞれの書類が必要となります。

#### 4 第二次試験

第一次試験合格者に対し面接試験及び適性検査を実施します。

#### 5 第三次試験

第二次試験合格者に対し個別面接試験を実施します。

※第三次試験合格者に対し健康診断を実施します。

#### 6 採用予定日

原則として令和2年4月1日以降、欠員等の状況に応じ順次採用となります。

#### 7 応募手続

##### (1) 申込書類

ア 所定の採用試験申込書及び受験票

上半身脱帽、正面向き4cm×3cmの写真(3カ月以内に撮影)をそれぞれに貼付すること。

イ エントリーシート

ウ 職務経歴書（前職がある場合のみ）

エ 返信用封筒1通（本人の宛先を記入し、82円切手を貼ること。封筒のサイズは、長形3号（120mm×235mm）。

##### (2) 申込方法

○郵送のみ（持参不可）

6月28日（金）まで（当日の消印有効）

※角形2号（A4サイズ）の封筒を使用し、書留により送付してください。

送付先：〒186-8501 国立市富士見台2丁目47番地の1  
国立市役所行政管理部職員課人事・人材育成係

注)ア 申込書類に不足又は記載の不備がある場合は、受付できない場合があります。

イ 7月19日（金）までに受験票が届かないときは、7月23日（火）～24日（水）の間に、必ずお問い合わせください。

ウ 試験に関する提出書類は一切お返ししません。

エ 取得した個人情報適切に管理し、採用試験以外には利用いたしません。

オ しょうがいのある方は、試験会場等の準備のため、申し込む前に必ず職員課人事・人材育成係へご連絡ください。事前申出がなかった方については対応できない場合があります。

## 8 給 与（平成31年4月1日現在）

### （1）初任給

上級初任給（給料＋地域手当15%） 約211,255円

※職務経歴年数、職種等に応じて、増額される場合があります。

たとえば、大学卒業後、募集職種と同種の職務の正職員での職務経歴年数が4年で26歳の方は245,985円程度が支給されます。

※採用試験申込書類の職歴を基に初任給計算をしています。職歴の記載がない場合は無職であったものとして、計算をします。

### （2）昇給年1回

### （3）諸手当

①扶養手当 配偶者、子、父母等、対象に応じた手当額を支給

②住居手当 15,000円（35歳未満の借家・借間に居住する世帯主）

※上記の他、職員の給与に関する条例に基づき、通勤手当、期末・勤勉手当、時間外勤務手当等が支給されます。

## 9 福 利 厚 生

各地の保養施設への宿泊助成や、パッケージ旅行利用助成、人間ドック助成、貯金事業、貸付事業などを行っています。

## 10 勤務時間・休日

（1）勤務時間は1週38時間45分（原則午前8時30分から午後5時15分まで）で、週休二日制です。

（2）休日は、原則として土曜日、日曜日及び国民の祝日等です。

※勤務時間と休日は、配属先により異なる場合があります。

## 11 有 給 休 暇

1年間に20日の有給休暇（年度初めの付与日数）、その他夏季休暇、忌引休暇、結婚休暇、介護休暇、出産育児関連休暇等の制度があります。

## 12 勤務地

市役所本庁舎及び国立市内関連施設

## 13 先輩職員インタビュー、過去の採用試験の実施状況等

国立市ホームページにて公開しています。

<http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/>

## 14 国立市役所案内図



〔採用決定までの流れ〕

令和元年6月28日（金）まで 採用試験申込



令和元年7月19日（金）まで 国立市より受験票・試験会場案内の送付

※受験票が届かないときは、7月23日（火）～24日（水）の間に、必ずお問い合わせください。



令和元年7月28日（日） 第一次試験（筆記試験及び作文）



第一次試験合格者は、第二次試験の前に最終学校（令和2年3月末日までに卒業見込の場合を含む。）の成績証明書及び卒業証明書（または、見込証明書）を提出。

令和元年8月下旬頃 第二次試験（面接試験及び適性検査）



令和元年9月下旬頃 第三次試験（個別面接試験）



最終合格 採用候補者名簿登載  
※欠員等の状況に応じ順次採用

採用決定



国立市役所入庁



## 〔過去の採用試験実施状況〕

平成30年度実施採用試験《一般事務職(上級) 募集人員 若干名》

一次試験日…平成30年7月22日・・・筆記試験及び作文

二次試験日…平成30年8月12日・・・個別・集団面接及び適性検査

三次試験日…平成30年9月26日・・・個別面接

申込者	受験者	一次合格者	二次合格者	最終合格者	倍率
226人	162人	42人	19人	6人	2.7

平成29年度実施採用試験《一般事務職(上級) 募集人員 若干名》

一次試験日…平成29年7月23日・・・筆記試験及び作文

二次試験日…平成29年8月20日・・・集団面接及び適性検査

三次試験日…平成29年9月27日・・・個別面接

申込者	受験者	一次合格者	二次合格者	最終合格者	倍率
276人	193人	50人	23人	8人	2.4

平成28年度実施採用試験《一般事務職(上級) 募集人員 若干名》

一次試験日…平成28年 9月18日・・・筆記試験及び作文

二次試験日…平成28年10月16日・・・集団面接及び適性検査

三次試験日…平成28年10月27日・・・個別面接

申込者	受験者	一次合格者	二次合格者	最終合格者	倍率
92人	53人	31人	19人	10人	5

※平成28年度までは、例年実施している一般事務職採用試験（主に新卒向け）について、C日程で実施していましたが、平成29年度からはB日程で実施しています。

※国立市役所ホームページ（<http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/sub3/index.html>）でも過去の採用試験実施状況をご覧いただけます。

# 国立市の人材育成

大変厳しい財政状況の中、限られた人材で住民のニーズに応じていくためには、職員一人ひとりが最大限能力を発揮しなければなりません。国立市では、平成24年度に作成した「人材育成基本方針」の中で目指す職員像を掲げ、人材育成の方策を具体的に示しています。

## 【国立市の目指す職員像】

### 考え抜く力

一人ひとりが主体的に問題を発見し、  
前例にとらわれず、解決策を見出す力

### 行動する力

チャレンジ精神をもって  
改革・改善のために行動する力

### 連携する力

- ・市民の声に真摯に耳を傾け、よりよいまちづくりのために積極的に力を合わせていく力
- ・職場の目標達成に向けて、円滑に協力・連携を図っていく力

自ら考え、市民とともに積極的に行動していく職員

## 【人材育成の方策】

### 職員の意欲とチャレンジ精神を喚起する人事制度

- ・柔軟な採用試験の実施
- ・人事評価制度の確立
- ・充実した昇任資格試験制度
- ・職場を活性化する人事異動
- ・女性職員が管理職になりやすい環境の整備

### 職員の能力を最大限引き出す研修制度

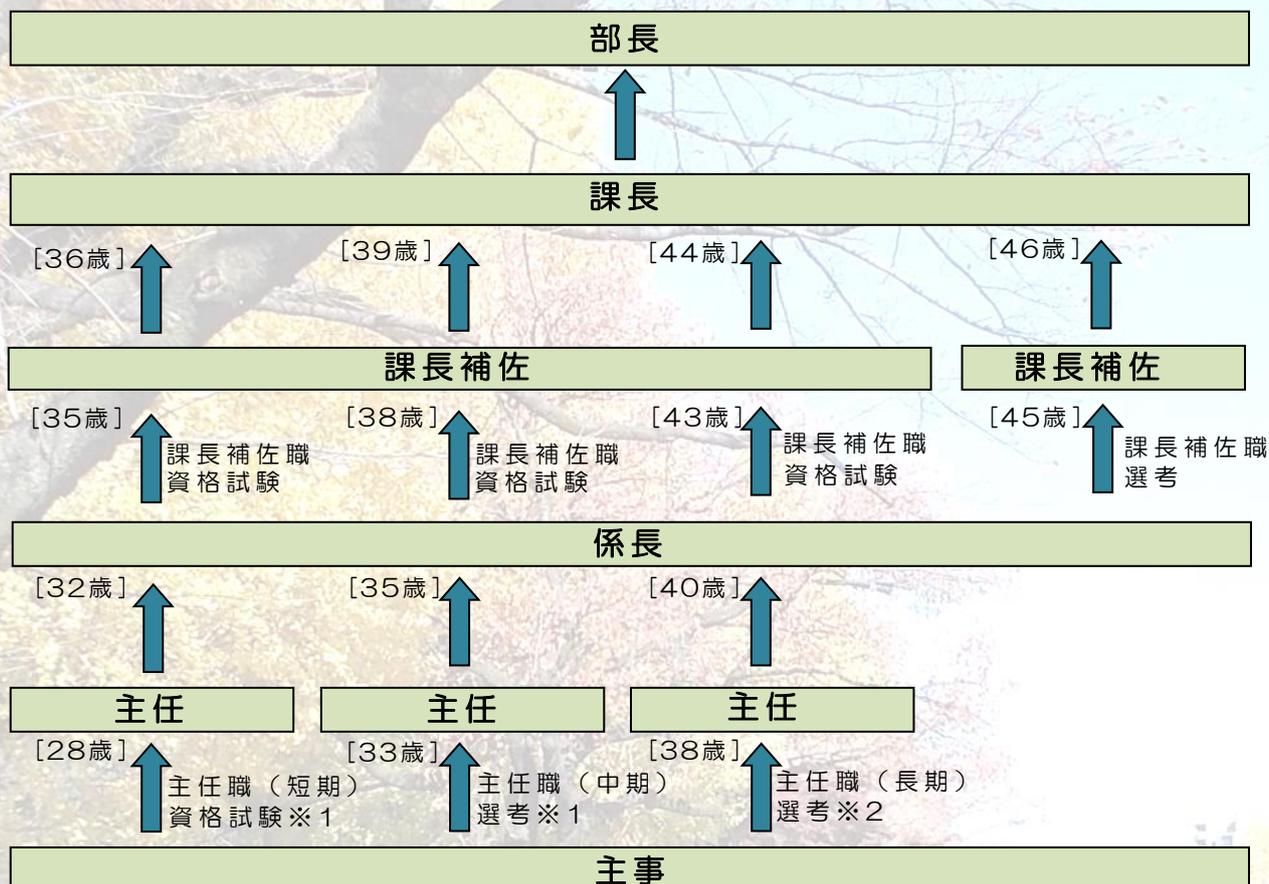
- ・職場内研修（OJT）の推進
- ・市町村職員研修所、市独自、他市との合同研修等多様な職場外研修の実施及び派遣（Off-JT）
- ・自己啓発に取り組みやすい職場環境

### 人材育成を推進する取り組み

- ・管理職をはじめとする全職員の意識改革の推進
- ・職員表彰制度やプロジェクトチームを活用した職員の育成
- ・東京都や他の地方公共団体、民間企業等への派遣

# 昇任制度

優秀でやる気のある人材を積極的に活用するため、国立市では、採用試験時の区分（上級・中級・初級）に関係なく、同じ条件で昇任試験等を受けられる制度としています。また、主任職への昇任試験において、他自治体や民間企業等の経験者の方は、過去の職歴を換算して受験要件の在職年数に加算できる制度としています。



[ ]内は最短年齢

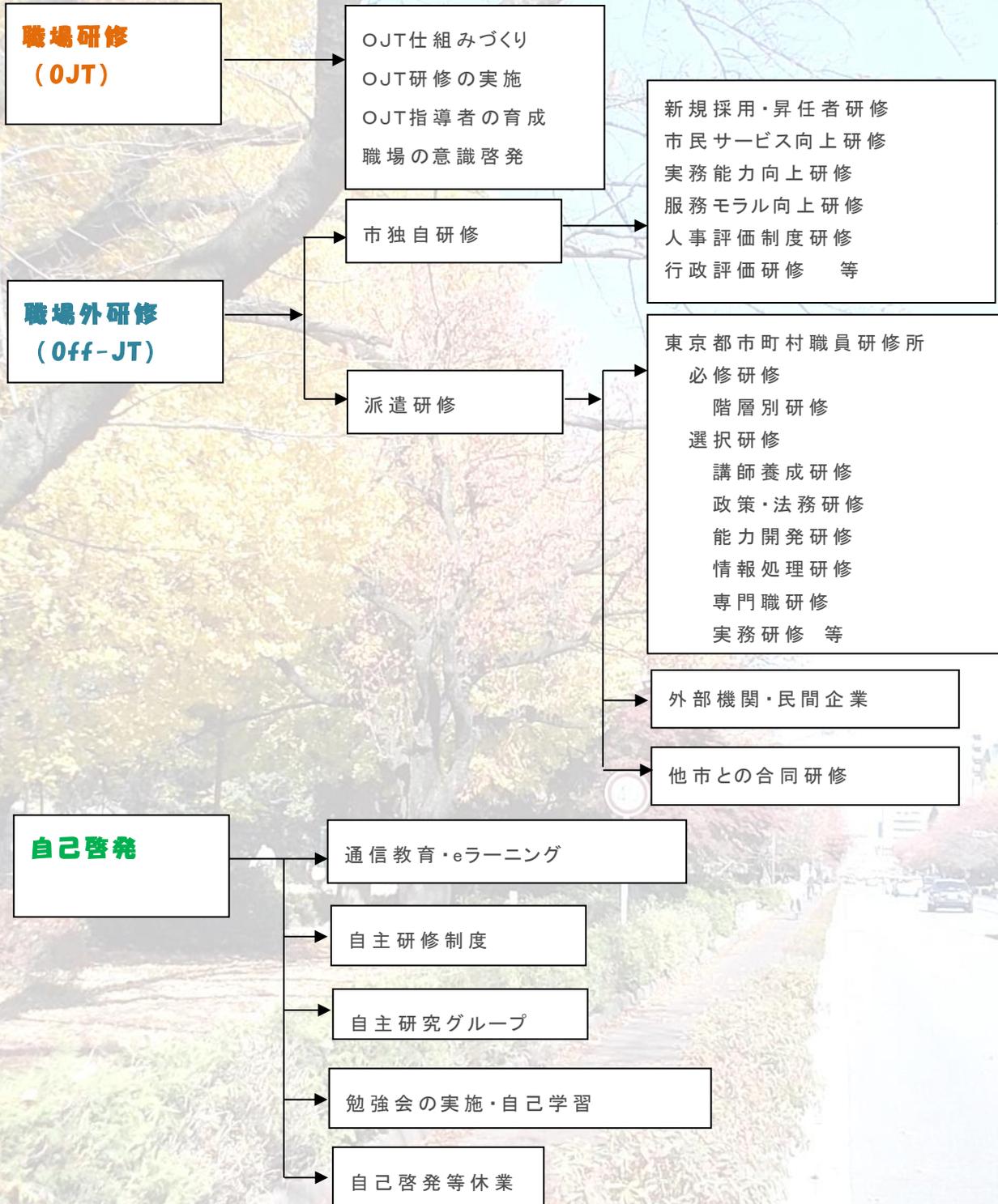
※1 在職年数5年目より受験可。（規則に基づき、4年を限度として在職年数に前歴加算が可能です。例：採用職種と同じ職種で、正規職員としての前歴が4年以上ある場合は、28歳以上かつ市職員として在職1年目より受験可能です。）

※2 在職年数15年目より受験可。（規則に基づき、14年を限度として在職年数に前歴加算が可能です。例：採用職種と同じ職種で、正規職員としての前歴が14年以上ある場合は、38歳以上かつ市職員として在職1年目より受験可能です。）

※3 上記制度は平成31年4月1日時点での制度です。今後、制度改正等により変更となる場合があります。また、在職年数については、採用年月日や前職の職種・形態等により異なります。

# 職員研修制度

## 職員研修体系図



国立市の研修は、①職場研修（OJT）、②職場外研修（OFF-JT）、③自己啓発の三本柱を効果的に組み合わせることで人材育成を推進しています。

## ① 職場研修（OJT）の推進

OJTとは、仕事ができる（実務上必要な知識、技術等の習得）ようにするため、職場において上司・先輩等が仕事を通じて指導を行うことです。OJTについて、職員が共通認識を持ち、計画的・組織的に取り組めるよう、国立市では、OJTの強化に取り組んでいます。

## ② 職場外研修

職場外研修は、それぞれの職層に求められる能力を身につける階層別研修や業務に関する専門的な知識を身につける研修等、内容は多岐にわたります。職員の職層や求められる能力・知識等を踏まえ、国立市では、適宜研修の内容を検討し、実施及び派遣を行っています。

## ③ 自己啓発の推進

国立市では、自己啓発を推進するために、個々の職員の自主性に委ねるだけでなく、きっかけづくりや自己啓発に取り組みやすい組織風土づくりを推進しています。自主的に業務時間外に研修を受講した場合に助成を行う自主研修制度や通信教育修了者への助成、自主研究グループの支援等を行い、積極的に自己啓発の支援を行っています。また、大学等課程の履修や国際貢献活動のため、3年を限度に自己啓発として休業を認める制度を設けています。

# 国立市の概要

### 位置

国立市は、東京都の中央部にあって、東は府中市、西は立川市、北は国分寺市、南は多摩川をはさんで日野市と接しています。

東経 139度27分 北緯 35度41分 標高 74m(基点は、市役所の位置)

### 地勢

土地は、地形上、北部の立川段丘から、南に向かって青柳段丘、水田地帯の3つに分けられます。面積は8.15km<sup>2</sup>、東西2.3km、南北3.7kmとなっています。

### 人口と世帯

<平成31年(2019年)4月1日現在・外国人登録を含む>

男 37,121人 女 38,863人 計 75,984人 37,833世帯

### 市制施行

昭和42年(1967年)1月1日 平成29年1月1日に市制施行50周年を迎えました。

### 国立市の市章



国立市のマークは、梅の花です。五弁の花びらをあしらったこの市章は、いろいろな意味をもっています。二重の外側は、「国」のかまえを表し、内側は、「立」と文教の「文」を示し、図案全体で世界五大州の意味も含んでいます。

## 国立の名前の由来

国立という名は、大正時代の末期、箱根土地株式会社によって谷保村の北部の山林が開発された際、まちの名前を選ぶときに出てきました。当時の中央線は国分寺の次が立川で、ちょうどその真中に当たる場所に駅をつくることになっていたため、両方の頭文字を取って「国立」にしようという声が上がりました。

この案は「この地から新しい国が立つ」という願いとも相まって受け入れられたようです。「国立」が正式名になったのは、昭和26年（1951年）4月1日です。戦後、国立地区に移り住む人々が増え、村制から町制に移行するときに、町名をどうするかで村内の意見が分かれていましたが、谷保村議会で投票の結果、「国立町」に決まりました。

## くにたちのあゆみ

### 中世

鎌倉時代の後期には「谷保郷」という地名が成立しました。本来谷保の「谷」は「ヤツ」で、湿地帯を意味し、この地域が水田に適した土地条件を持っていたことから、稲作が盛んだったと考えられます。鎌倉の御家人の津戸氏と名のる武士が、谷保に住んでいたといわれています。

### 江戸・明治時代

江戸時代、今の甲州街道を中心に民家が立ち並び、やがて村へと発展。住民は農業、養蚕を主とし、街道沿いには商業・手工業を営む家もありました。

明治22年（1889年）には、谷保村・青柳村・石田村飛地の3村が合併し、国立の前身の「谷保村」となりました。同26年（1893年）には、それまで属していた神奈川県から東京府へと移管されました。

### 大正時代

大正時代末期になっても、谷保村は甲州街道沿いに数百戸の農家が点在するだけでした。しかし、谷保村の北部一帯の山林が、箱根土地株式会社によって開発され、理想の文教都市をめざして、整然とした街路が作られました。大正15年（1926年）には、国立音楽大学が創立され、また、国立駅が開設されました。

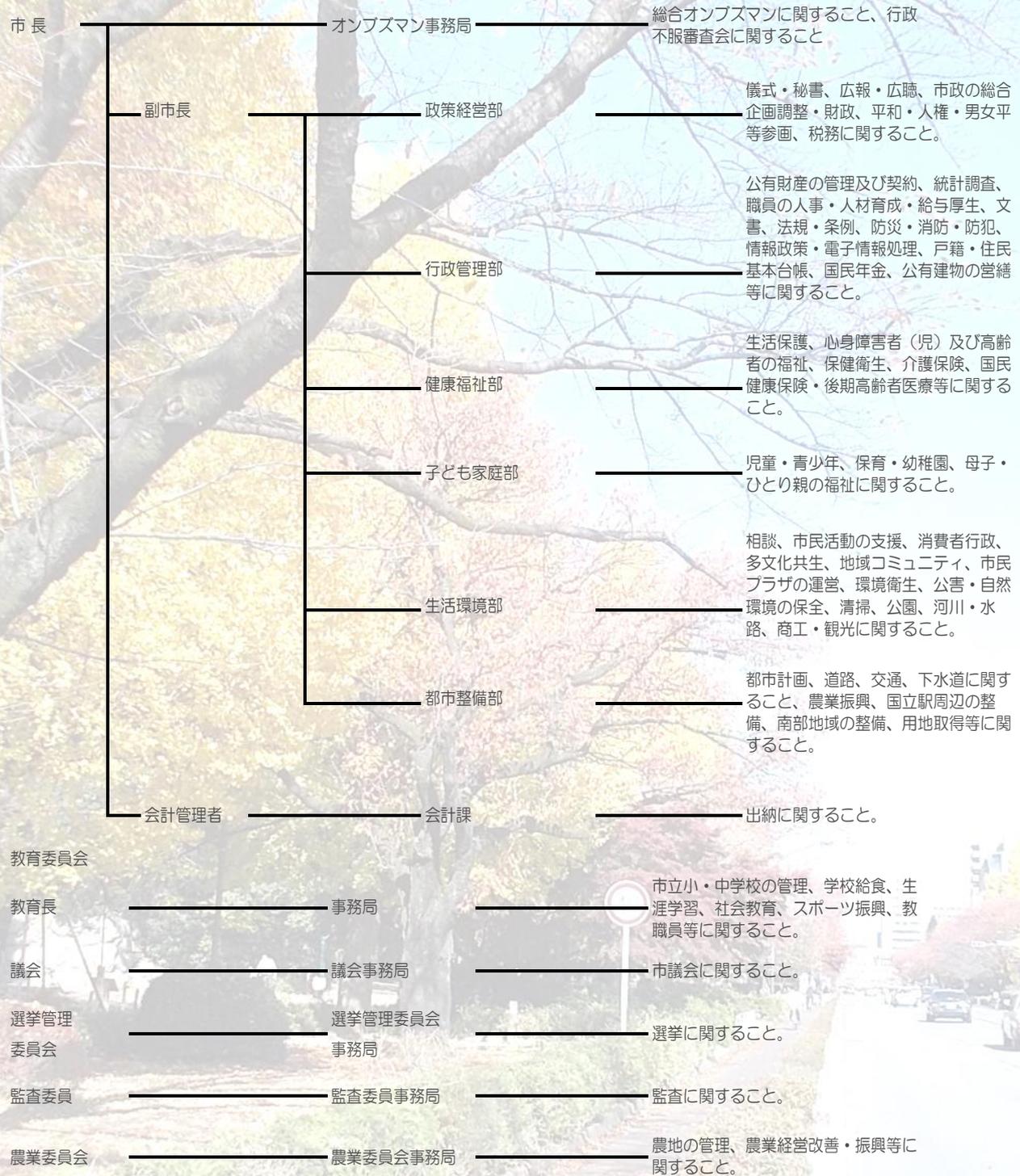
### 昭和時代～現在

昭和2年（1927年）に一橋大学が誘致され、4年（1929年）に南武線が開通しました。昭和20年（1945年）代には第二次世界大戦による疎開と、戦後の住宅復興によって、人口はうなぎのぼりに増え、26年（1951年）に谷保村から国立町になりました。また、そのころ国立の教育環境を守るため、市民や学生を中心に、「文教地区指定運動」が起こり、27年（1952年）1月6日、国立は建設省と東京都から「文教地区」の指定を受けました。40年（1965年）、公団の富士見台団地が完成し、人口も一躍5万人を突破して「国立市」が誕生しました。平成10年（1998年）に、市民が7万人を超え、現在に至っています。

平成28年度（2016年度）から平成39年度（2027年度）までの12年間を計画期間とした第五期基本構想では、「人間を大切にす」まちづくりを基本理念に、「文教都市くにたち」のさらなる発展を目指し、「次世代の育成」、「安心・安全の確保」、「国立ブランドの向上」に重点的に取り組み、まちづくりの目標実現に向けて市政に取り組んでいます。

# 国立市役所の組織

※平成31年4月1日現在



# 先輩職員



# インタビュー

政策経営部政策経営課

**朝倉 悠介** 平成23年度入職

都市整備部南部地域まちづくり課

**鋤田 彩葉** 平成30年度入職

教育委員会事務局生涯学習課

社会教育・文化財担当係長

**井田 隆太** 平成13年度入職

国立市役所ホームページでも過去の先輩職員インタビューや国立市について紹介しています。

トップページ→「職員採用募集」→「国立市職員募集について」→「過去に実施された国立市職員採用試験の募集内容（参考）」

令和元年5月30日

フリガナ	アサクラ ユウスケ	
氏名	朝倉 悠介	
入職年度	平成23年度入職（一般事務職）	
年	月	経歴
24	1	収納課に配属
26	10	政策経営課に配属
		現在に至る



これまでの仕事、現在の仕事の内容について教えてください。また、入職からの1年間で感じたことを教えてください。

収納課は入庁後初めての所属ということもあり、業務のことはもちろん、市役所の仕事のイロハもわかりませんでした。そんな中、諸先輩方に教わりながら社会人としての基礎を身につけていきました。

平成26年10月に政策経営課財政係へ異動となりました。何をやっている部署かよく分らないけど、なんとなく大変そうなイメージを抱いたまま財政係へ異動しました。収納課ではあまり他部署と接点がなかったので、市の業務に横断的に携わる財政係の業務は慣れるまでかなり時間がかかりました。

予算・決算・交付税・地方債・ふるさと納税などといってもピンと来ないかもしれませんが、市のお金に関わること全般が業務内容です。財政の専門用語や細かい知識も多く求められ、大変なところもありましたが、とても良い勉強になりました。どこの部署でも活用できる知識が身につけられたのは代え難い経験です。

これまでの仕事で特に印象に残っていることなどがあれば教えてください。

ふるさと納税の業務の中で、様々な企業と接点をもてたことです。市内の企業が持つ商材をふるさと納税の返礼品にしてもらうため、いろんな場面を通して関係構築ができました。

その中でも特に印象に残っているのは、ドローンの取扱企業との業務提携です。今まで市とその企業は関わりがなかったのですが、ふるさと納税でのドローン返礼品提供を発端に、市と災害協定を結んだり、市政施行50周年イベントでドローンによる国立市の空撮PR動画を作成していただいたりなど、密な関係性を築くことができました。自分が携わった業務からスタートして、新しい市の施策につながったことは感慨ひとしおでした。

（※ぜひ当市HPからドローンによるPR動画をご覧ください。説明するより、国立市いいなあと直感的に感じてもらえるはずです。）

財政係に所属されていることから、市長や副市長など国立市のトップである理事者との距離も近く、直接関わることも多いかと思います。その中で感じたことや、意識の変化などがあれば教えてください。

細かい作業をしているとどうしても俯瞰的な視点が抜けてしまいがちですが、広い視野で物事を考える点は身についたと思います。

ただ、やはり理事者の前で説明する際には緊張感がありますし、自分の至らなさを痛感することもあります。しかし、それがあからこそ勉強の励みになるので、いい機会に恵まれていると感じています。

有給休暇や夏季休暇などを取得する場合の、上司や同僚など職場の雰囲気について教えてください。また、朝倉さんは育児休業を取得していましたが、取得のし易さや、子育てへの影響についてもお伺いしたいです。

自分の職場は、休みが取りやすい雰囲気があると思います。ありがたいことにストレスなく仕事に打ち込める状態で、ワークライフバランスも充実しています。

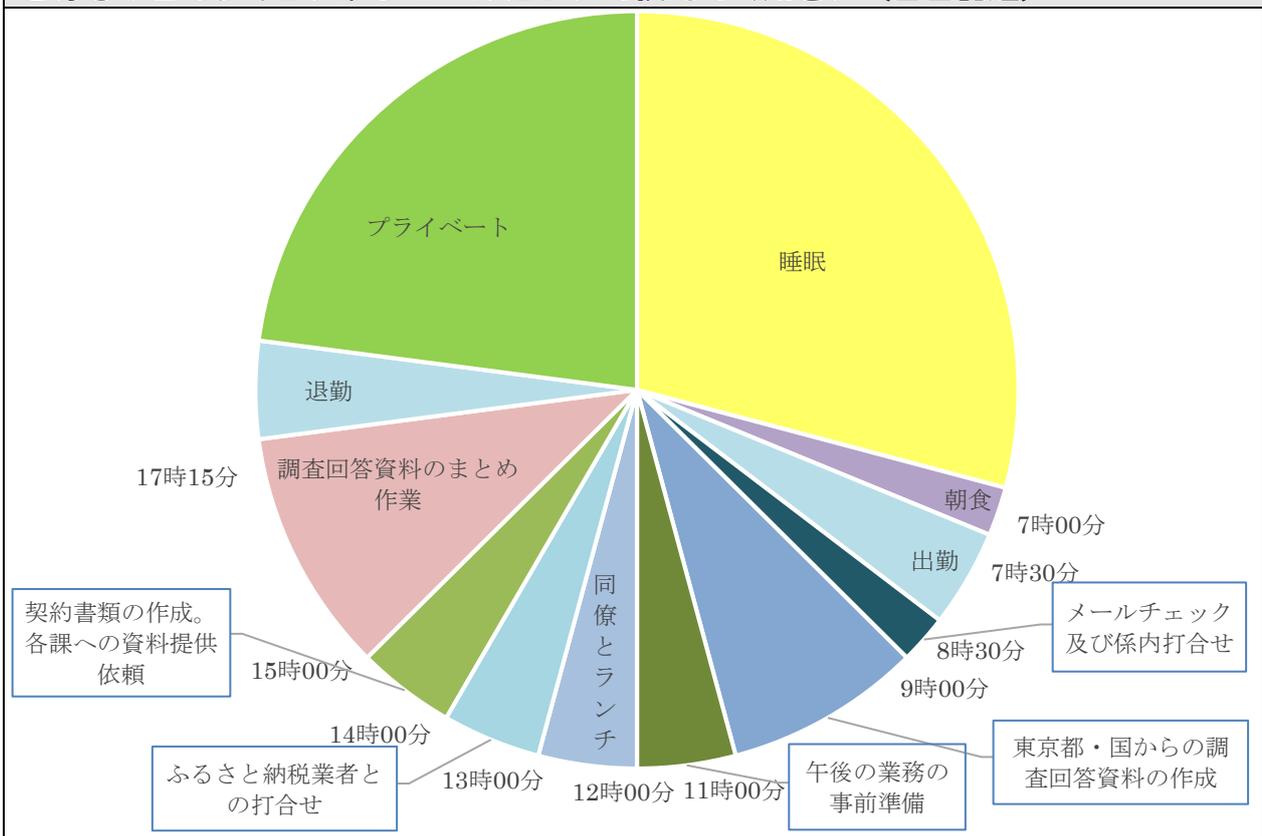
子供が生まれてすぐに2週間ほど育児休業も取りましたが、今思い返すと、もうちょっと長く取ればよかったかなあと考えています。実際、育休取得しやすいかどうかはその職場の状況によると思いますが、男性も取得している人は増えてきている感じがします。

育児休業をとったほうが子育てへの意識も高まるし、それによって仕事の効率も考えて打ち込めるようになり、相乗効果につながっていると思います。

### 国立市の魅力について教えてください

小さい市なのに、まだまだ新しい発見があるところが魅力的だと思います。自分の知らない場所・モノ・コト、小さな地域ながら大きなエネルギーに溢れた街だからこそ変化があって飽きないです。

### とある1日のタイムスケジュールについて教えてください（自由記述）



フリガナ	クワタ アヤハ	
氏名	鍬田 彩葉	
入職年度	平成30年度入職（一般事務職）	
年	月	経歴
30	4	南部地域まちづくり課に配属
		現在に至る



### 職場環境や仕事のやりがいについて教えてください

民間で働いていた時は「良いと思ったことはすぐ実行」という風土の職場だったので、方針の変更によって仕事のやり方が変わったり、また社員の判断でお客様への対応を変えたりすることがありました。市役所での仕事では、それ以上に確実性や公平性が求められる点が違いかなと思います。常に改善が求められるところと同じでも、一つ一つの決定事項に理由があり、また公平性を重視することが求められるので、そういった点を意識するようになりました。

やりがいという面では、今の部署はお客様に直接サービスを提供していく仕事とは違い、自分が携わる仕事が道路や景観といったハード面に反映されるようになるので、長い目で見たときに、成果が大きな形として現れるという点が面白いと思います。

### 現在の仕事の内容や入職からの1年間で感じたことを教えてください。

平成30年度に入庁し、南部地域まちづくり課用地担当に配属となり現在2年目です。主に、用地の売買に関する価格の評定や契約といった事務を担当しています。また、市内で土地の取引を行う際に必要になる届出等のご案内も行っています。

配属されるまでは、市役所の仕事ということと住民への支援やサービス等を行う職場くらいにしか考えていませんでした。今までの社会人経験でまったく関わったことのない分野の業務になったので、はじめは分からないことばかりでした。今も教えていただくことばかりですが、いつも丁寧に対応してくださる上司や周りの方々に支えられ、一つずつ勉強しながら仕事を進めています。

### 目標にしていることがあれば教えてください

「まちづくり」を通じた市民貢献です。景観形成や道路拡幅は、長期的なものなので、自分が関わってから具体的に形に表れているものはありません。

住民説明会で市民の方から、「ここの通りが狭く危険なので早く対応して欲しい。」「さくら通りの桜がきれいで毎年楽しみにしている。」「植えている桜の木の種類を教えてください。」などのお声をいただいたりする中で、まちづくりが市民の方の生活に直結しているのだと改めて実感します。市役所の仕事は、将来的により生活しやすい環境につなげられる仕事だと感じます。

### 入職のきっかけ、前職について教えてください。

前職は大学受験予備校で校舎の運営を行っていました。人のために何かできる職場がいいと思っていたので、生徒の成長に携わることができ、楽しくやりがいのある職場でした。忙しくも充実していましたが、数年経験する中で、受験指導という狭い分野に限らずもっと幅広い分野での仕事をやってみたいと思うようになり、市役所職員を考えました。

### 組織として仕事をする上で意識していることがあれば教えてください。また、今年度は昇任があり、環境が新たになりましたが、今後の抱負などがありますか。

係や課を越えての業務になることがほとんどなので、部署を越えて協力することが必要になります。そのため、小さなことですが、私は他の部署の方と相談や調整が必要になった場合、電話やメールで済まらず直接やり取りするようにしています。

国立市では前職での経験も職歴として加算され、早い時期から昇任試験を受けられます。今年度から主任となり、環境として大きな変化はないのですが、係の担当業務が一つ増えたので、新しい業務も含め責任をもって担当できるようになることが今後の目標です。

### 国立市の魅力について教えてください

まちとしても様々な魅力がありますし、職場環境としても、いい意味でコンパクトだと感じます。他の部署の方とも距離が近く、部署をまたいで教えてくれる先輩方もいて心強いです。そして組織がコンパクトな分、自分が担当できる業務は幅広くなります。市役所の仕事は本当に多岐にわたるので、多くのことを経験してみたい、幅広い分野で市に貢献したいと考えている人にはとても魅力的だと思います。

### とある1日のタイムスケジュールについて教えてください（自由記述）



8:00	出勤
9:00	メールチェック、1日の業務の確認
10:00	委員会資料の作成
11:00	作成資料について部内での打ち合わせ
12:00	昼休憩
13:00	登記所へ移動
14:00	登記所で証明申請の手続き
15:00	登記所から帰庁
16:00	東京都への届出書類の内容確認、書類作成
17:00	退勤



フリガナ	イダ リュウタ	
氏名	井田 隆太	
入職年度	平成13年度入職（一般事務職）	
年	月	経歴
13	4	市民課に配属
16	4	秘書広報課に配属
22	4	政策経営課に配属
24	4	都市計画課都市計画係長
26	4	市長室秘書担当係長
27	4	生涯学習課社会教育・体育担当係長
		※平成29年4月より「生涯学習課社会教育・文化財担当係長」に職名変更
		現在に至る



これまでの仕事、現在の仕事の内容について教えてください。また、普段仕事をする上で意識していることなどはありますか？

今まで、住民票の発行等の窓口業務、市報の発行、予算編成、都市計画などの仕事をしてきました。今は、生涯学習課で社会教育や文化財の関係の仕事をしています。（写真参照）仕事が多岐にわたっているので、頭の切り替えが上手くいかないこともあります。非常にやりがいがあります。



▲茅葺屋根葺き替え後の古民家



▲緑川東遺跡で出土した大型石棒

仕事は、頭を使うもの、単純作業のもの、体を使うものなど、色々な種類がありますが、一つの種類の仕事ばかりすると能率が落ちてしまうので、スケジュールの許す限り、一日の中で時間を区切り、違う種類の仕事を行うように心掛けています。

入職のきっかけや前職について教えてください。

入職前は、システムエンジニアをしていました。毎日、朝から晩までパソコンとひたすら向き合う仕事だったのですが、人と関われる仕事、人のためになっていることを日々実感できる仕事をしたいと思うようになり、公務員を目指し、受験しました。「石の上にも三年」とあるとおり、3年位は続けた方がいいのではと思いつつ、早く転職をしたのですが、今となっては早く転職してよかったと思っています。

係長職の経験が豊富ですが、後輩や部下の育成、配慮していることなどがあれば教えてください。

早いもので、係長になって7年が経ちました。後輩や部下は個人それぞれに長所があります。個人個人の良さを伸ばせるよう、それぞれに合った育成をするように意識しています。（できているかどうかは分かりませんが・・・）

基金の活用検討委員会やレインボープライドなど、所属する部署以外の業務にも積極的に参加されていますが、そこで学んだことや自分の業務に活かした経験などを教えてください。

所属する部署以外の業務であっても、自分が興味を持ったことには、普段の業務の許す限り参加するようにしています。他の部署の業務に関わることで、自分の部署の仕事と比較をすることができ、市職員として市民のために何をすべきか判断する材料が増えるからです。

また、他部署の仕事に関わることで、自分の部署以外の人と仲良くなることができます。その部署の仕事で分からないことがある時に気軽に聞くことができるほか、飲み仲間も増えました（笑）



▲レインボープライドでの写真

国立市の職場の魅力について教えてください

国立市の職場の魅力は、職員にやる気があり、そして優秀な人材が揃っていることだと思います。やる気のある職員や優秀な人材と接することで、自分自身も刺激を受け、仕事を頑張る活力にもなります。

そして、私も周囲に対していい刺激を与えられるような職員となれるよう、努めていきたいと思っています。

とある1日のタイムスケジュールについて教えてください（自由記述）

時刻	内容
8 : 1 0	出勤
8 : 3 0	メールや庁内掲示板をチェック
9 : 0 0	生涯学習振興・推進計画の内容に関して打合せ
9 : 3 0	打合せを踏まえ、生涯学習振興・推進計画の報告資料作成
1 2 : 0 0	昼食
1 3 : 0 0	翌日の文化財関係のイベントに向け、打合せと設営
1 7 : 0 0	翌週の予定の確認とメールのチェック
1 7 : 1 5	退勤

# ワークライフバランスについて

仕事と子育てや趣味との両立を実現する

**職員が仕事とプライベートの両方を充実することができるように、国立市では下記のような取組をしています。**

## 1. 休暇制度等

年次休暇（1年（年度）で20日間付与）、夏季休暇（7月1日～9月30日に5日間付与）の他、下記の休暇も取得できます。

### 【子育てに関する休暇等】

産前産後休暇、育児休業の他にも下記のような休暇があります。

産休や通勤緩和等以外は男性も取得でき、男性の育児休業、部分休業等の実績もあります。男女ともに働きやすい環境です！

#### ① 妊娠中の女性職員の通勤緩和

妊娠中の女性職員が、交通混雑を避けるための休暇で、1日1時間以内で産前休暇に入るまで取得できます。

#### ② 育児時間

1歳未満のお子さんを養育するため、1日2回、90分以内で取得できます。

#### ③ 部分休業

小学校就学前までのお子さんを養育するため、1日の勤務時間のうち2時間以内で遅く出勤したり、早く退勤したりすることができる制度です。

#### ④ 子どもの看護休暇

中学校就学前の子の看護のほか、予防接種や健康診断を受けさせる場合に1年（年度）につき、5日以内で取得できます。

男女と問わず、子育てと仕事を両立している職員が多くいます！

男性の育児参加を支援するためにこんな休暇もあります！

#### ✳ 出産支援休暇

男性職員が配偶者の出産にあたり、お子さんの養育や家事等を行うために取得できる休暇です。配偶者の出産日から2週間以内で2日間で取得できます。

#### ✳ 育児参加休暇

男性職員が育児に参加するため、配偶者の出産日の翌日から8週間以内で5日間取得することができます。

上記の他、ボランティア休暇や結婚休暇、大学等課程の履修や国際貢献活動に従事するために3年以内で取得できる自己啓発等休業などの制度もあります。

## 2. ワークライフバランスデー

毎週金曜日及び給与支給日を「ワークライフバランスデー」として定時退庁日とし、プライベートの充実を図ることを促しています。また、ワークライフバランスデーでない日についても、20時完全退庁の取り組みを実施しています。

## 問い合わせ・送付先

〒186-8501 国立市富士見台2丁目47番地の1  
国立市役所行政管理部職員課人事・人材育成係  
042(576)2111(代)  
内線261